

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	安全なロボット支援下胃切除術を目指したプロトコル制導入の検証
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	愛知医科大学 メディカルセンター 消化器外科 助教 大澤高陽
研究の対象となる方	2018年7月から2025年7月31日までにロボット支援下胃切除術を受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕 ロボット支援下胃切除術において現在当科で導入しているプロトコル制(手術の進捗状況毎に定めたタイムスケジュール表)の役割を検証します。</p> <p>〔利用方法〕 該当期間に行われたロボット支援下胃切除術に関する診療情報を解析し、手術時間や出血量、合併症の有無などを導入前後で比較し、その効果を評価します。研究計画書や関連する資料は下記問い合わせ先に連絡すれば閲覧可能です。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕 非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕 非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：手術時間・出血量・合併症の有無、術後在院日数などを診療録より取得します。</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年10月31日までに電話または郵送により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学メディカルセンター 消化器外科 担当者：助教 大澤 高陽 〒480-1195 愛知県岡崎市仁木町字川越 17 番地 33 電話 0564-66-2811